



はちのす

木戸小学校学校だより

令和7年3月19日

No.284

皇帝ペンギンは寒くても大丈夫？！

校長 貝沼 浩晃

＜2月の全校集会の話＞

皇帝ペンギンを知っていますか。身長は130センチくらいで、南極に住んでいます。南極の冬は寒く、気温はマイナス60℃にもなります。時速200kmほどの暴風雪やブリザードが吹いています。

そのような厳しい寒さから、どのように体を守っているのでしょうか。それは、みんなが集まって、おしくらまんじゅうのように、くっつき合うそうです。

この様子をよく観察していた人があることに気がしました。それは、皇帝ペンギンは少しずつ動いているのです。外側のペンギンは内側に、内側のペンギンは外側に、ちよつとずつ動いています。少しずつ場所を交替しています。

どうしてそのようなことをしているのでしょうか。

くっつき合っても、外側のペンギンは背中が寒いです。長い時間そのままだと、さすがの皇帝ペンギンも寒さで死んでしまいます。一番外側のペンギンが死んでしまうと、2列目のペンギンが一番外側になります。このペンギンも寒さで死んでしまいます。そして、3列目、4列目も同じように死んでしまいます。最後には真ん中にいたペンギンも死んでしまうことでしょう。

しかし、実際にはそのようなことはなく、みんなで交替して、助け合って生き抜いています。皇帝ペンギンは、南極で生きる生き物の中での生存率はとても高いそうです。

私たちの生活の中にも、皇帝ペンギンのように助け合う場面はありますね。大変なことも、みんなで助け合って乗り越えていますか。私は大変なことがいやだから、やりたくないな。〇〇さんがやってくれるから、私はしなくていいかな。と思っている人はいませんか。

「助け合う」を難しい言葉で「協力」とも言いますが、とても大事なことです。

先日の「6年生ありがとう集会」の準備や練習では、助け合うシーンがたくさんあったことでしょう。そのおかげで、会は感動的な大成功でした。



上：4学年、図工

中：2学年、音楽

下：5学年、家庭

＜木戸小ブログ公開中＞木戸小ブログの内容を充実させています。日々の学習の様子などをいち早く、写真を多く入れながらお伝えしています。ぜひお子さんとの話題に役立ててください。

